

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

| 1-1 建物概要 | | 1-2 外観 | |
|----------|-------------|--------|----------------|
| 建物名称 | 鹿島大橋寮建替工事 | 階数 | 地上5F |
| 建設地 | 福岡県 | 構造 | RC造 |
| 用途地域 | 第一種/第二種住居地域 | 平均居住人員 | 53人 |
| 地域区分 | 7地域 | 年間使用時間 | 6,400時間/年(想定値) |
| 建物用途 | 集合住宅 | 評価の段階 | 竣工段階評価 |
| 竣工年 | 2021年3月 予定 | 評価の実施日 | 2021年3月1日 |
| 敷地面積 | 1,685㎡ | 作成者 | 猪部開 |
| 建築面積 | 478㎡ | 確認日 | 2021年3月1日 |
| 延床面積 | 1,488㎡ | 確認者 | 笠島里弥 |



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.7

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 4.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

| 3 設計上の配慮事項 | | |
|------------|--|--------------------------------------|
| 総合 | | その他 |
| 安全性 | 高耐震性、BCP対応 | |
| 経済性 | 維持管理のしやすい建物、建材、機器採用 | |
| 環境配慮 | 省エネ・周辺環境に配慮した建材、機器採用 | |
| Q1 室内環境 | 断熱性・遮音性、設備制御性による居室の環境性能向上に加え、住戸に輻射冷暖房を採用 | Q3 室外環境(敷地内) |
| LR1 エネルギー | 外皮性能、高効率設備によるエネルギー量削減 | Q2 サービス性能 |
| | | 将来にわたる、建築・構造・設備全体の信頼性・可変性向上 |
| | | LR2 資源・マテリアル |
| | | 節水及び高炉セメントを躯体全般に使用する等資材選定による地球環境負荷低減 |
| | | LR3 敷地外環境 |
| | | 地域の規制を踏まえた敷地周辺への環境負荷低減 |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される